

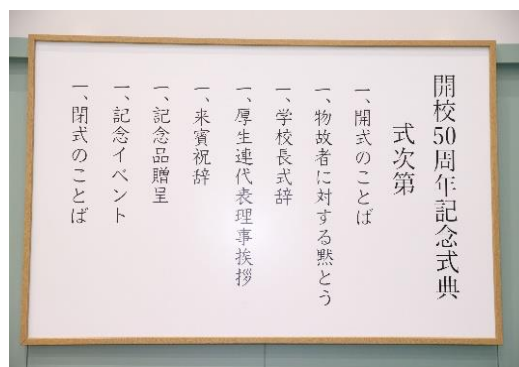
令和4年10月8日(土)開校50周年記念式典を行いました。

10月8日(土)、10:00～土浦協同病院附属看護専門学校体育館にて開校50周年記念式典を開催いたしました。

今回の式典は『50年の歩みと地域に必要とされる看護師教育を目指して』をサブタイトルにこれまでの50年間の看護師教育を振り返り、本校の特徴である地域・社会のニーズに対応した看護師教育をこれからも継続していきたいと決意を新たにすることができました。



学校のラウンジにはJA茨城県厚生連理事長様・関連病院院長様・本校同窓会様からいただいた素敵な胡蝶蘭で、式典がより華やかとなりました。



記念式典は、渡部学校長の式辞、厚生連代表酒井理事長より挨拶後、ご来賓祝辞として、茨城県保健医療部部長森川博司様、茨城県看護協会会長白川洋子様、土浦市長安藤真理子様、石岡市長谷島洋司様より看護の重要性を讃えていただきありがたいご祝辞を賜りました。





式場にご列席の39名の来賓の皆様一人一人からも「おめでとうございます」と、温かいお言葉をいただきました。その後、同窓会会長深澤千映子様から学校へ、体育館ステージ上のバック幕(黒)の記念品の贈呈があり、開校50周年記念式典で披露させていただきました。

式典イベントでは、歴代の卒業生アルバムをもとに開校から50年間の映像にまとめ、BGMとともに上映いたしました。映像には第1期生20名から40名、100名、120名と、地域・社会のニーズに合わせて学生を養成してきた様子や、時代の流れを感じるワンピース実習服やナースキャップなど、懐かしい数々の場面に思い出がよみがえる時間となりました。※映像配信は11月30日までホームページで掲載中

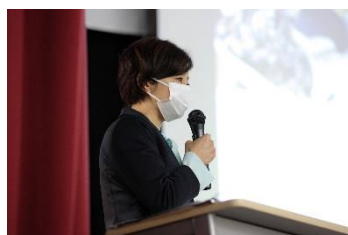
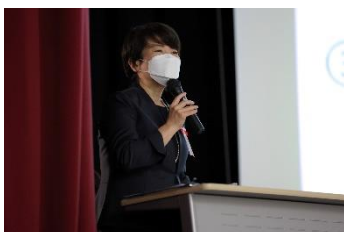


校舎は3度の移転をしており、開校校舎である真鍋新町と石岡三村校舎は50年を節目に取り壊しが決まっております、見納めとなる映像となりました。来賓の方の中には当時を懐かしみ、涙ぐんでいる方もいらっしゃいました。お世話になった地域の方々に感謝申し上げます。



その後、大川副学校長兼教務部長より本校の入学者状況や看護師国家試験合格状況など、学校概況の紹介がありました。これまでに卒業生総数3275名を輩出し多くの卒業生は現役で働いており、特に茨城県内で従事し地域貢献に尽力していると報告がありました。

今回のイベントでは地域でご活躍の中島様・石山様・角田様の3名の卒業生による講演企画を行い、看護師・保健師・助産師と資格の違いを活かしながら、地域住民を対象に看護活動をしている様子やこれからの抱負など各々のエピソードを交えながらお話をいただきました。改めて看護の奥深さと頼もしい卒業生の姿に、会場内の学生たちは将来の看護師目標をイメージできたことでしょう。





講演後、3名の卒業生から開校当初からこれまで本校を支えてくださった恩師である結城先生、大塚先生、矢澤先生にお礼のお花のプレゼントがありました。サプライズに先生方も驚いておりましたが、皆さん素敵な笑顔と会場の大きな拍手でイベントを終了いたしました。

関連イベントとして、教室に1期生から50期生の集合写真・在校生のメッセージ・新旧のテキスト展示などで開校を祝しました。

本校は開校50年という節目を迎えましたが、これからも地域社会に必要とされる看護師教育を続けてまいります。皆様のご支援を今後ともよろしくお願いいたします。

教職員一同